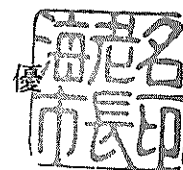




平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

海老名市長 内 野



今後の道路行政についての意見・提案について（提出）

このことについて、別添のとおり回答いたします。

事務担当：海老名市建設部建設総務課

国県事業担当

電話046-235-9601（直通）

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

神奈川県海老名市

海老名市は、神奈川県中央部に位置し、首都に集中する経済構造の影響を受け人口が増加し、市街化が進行しております。この市街化が進む、まちづくりの中で、道路整備は経済社会活動を支える最も基本的な社会基盤施設であります。

現在、市内では、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の一部である、さがみ縦貫道路の建設が進められており、南から門沢橋地区・中野地区・社家地区・中新田地区・河原口地区と市内を大きく縦断しております。特に、中新田地区は平成21年度供用開始予定のインターチェンジが設置されるほか、その他の地区についても平成22年度の供用開始が予定されております。

さがみ縦貫道路は、ジャンクションで東名高速道路に接続しており、高速道路を利用する車両の市内への集中が予想されます。

市では、交通混雑の緩和やインターチェンジへの車両を誘導するアクセス道路として、都市計画道路や市の幹線道路の整備が急がれており、平成20年度から10年計画で、道路整備事業費を約250億円と算定して、都市計画道路中新田鍛冶返線や幹線道路の整備を進めています。さらに、インターチェンジ周辺に位置する厚木駅周辺地区の再開発事業や海老名駅西口地区の土地区画整理事業を予定しています。このことから、県に対しても、広域的な幹線道路である都市計画道路社家岡田線、都市計画道路河原口中新田線、都市計画道路下今泉門沢橋線、県道22号（横浜伊勢原）等の整備を要望しております。

さがみ縦貫道路は、将来、第二東海自動車道とも接続され、3環状9放射のネットワークを形成し、都心部への通過交通排除と流入する交通の分散化が図られますが、高規格幹線道路に乗り降りする車両への市内の道路整備は、今後必要となります。

道路特定財源等については、「道路特定財源等に関する基本方針」が平成20年5月13日に閣議決定されましたが、上述したような取組みを計画的に進め、「住みたい・住み続けたい海老名」を実現するためには、安定的な財源の確保が強く望まれます。

財源が不足し道路整備が停滞すれば、社会的なマイナスとなり地域全体に与える影響は大であります。地方道路整備臨時交付金、市街地開発事業に係る補助などで手当てされている現行水準を一般財源化後も全額保障されるよう要望いたします。

②—I 地域の現状と抱える課題

神奈川県海老名市

○ 現状

市内の道路状況は、相模川を渡り東名高速道路厚木インターチェンジ方面へ向かう交通量が多く、相模大橋や戸沢橋が特に渋滞しています。そのため、環境が悪化するなど広域交流やまちづくりのネックとなっています。

さがみ縦貫道路の建設により、市内から直接、東名高速道路に乗り入れが可能となり利便性は増しますが、市内への流入車両の増加も懸念されます。

○ 課題

市内を通過する県道等の幹線道路の整備促進が課題となっております。

県道整備の促進

県道40号(横浜厚木)

相模大橋東交差点の渋滞

海老名駅入口交差点(右折車線の新設)

県道22号(横浜伊勢原)の拡幅整備

都市計画道路の整備促進

下今泉門沢橋線

河原口中新田線

社家岡田線

また、道路ネットワークの整備は、産業の育成や環境の改善、交通渋滞の緩和などの効果のほか、災害発生時の緊急輸送ルートとしての役割もありますので、第二東海自動車道の海老名以東への基本計画区間の計画促進が課題となっております。

第二東海自動車道整備の促進

海老名市第四次総合計画の道路に関する事項

「快適な都市空間をつくる海老名の魅力づくり」

１ 基本方針

都市の基本的な社会資本である道路などの都市基盤の整備を進める。特に、中心市街地周辺地区やさがみ縦貫道路海老名北インターチェンジ周辺地区などにおいて、ゆとりある新市街地の形成や拠点づくりを進める。

２ 道路整備の推進

道路交通ネットワーク体系の確立を推進させるため、道路や橋梁などの整備を行います。

主な事業 都市計画道路整備事業、下今泉門沢橋線・河原口中新田線・社家岡田線の整備促進、
幹線・準幹線道路整備事業、（仮称）南伸道路（市道２５４４号線）整備事業、
さがみ縦貫道路関連道路整備事業、橋梁整備事業

３ 市街地整備の推進

海老名駅周辺や海老名運動公園周辺地区、本郷・門沢橋地区などにおいて、適切な事業手法による計画的な新市街地の整備を促進する。また、海老名駅や厚木駅などの周辺地区について、鉄道立体交差事業や鉄道関連整備事業等を進め、道路交通の円滑化や鉄道交差部における安全確保と地域分断の解消を図る。併せて高齢者や障害者等の交通弱者に配慮した歩道づくりを進め、バリアフリー化を図ることで、安全な歩行空間を確保する。

特に海老名駅周辺地区においては、交通渋滞等の道路交通問題への対応とともに、歩道整備の推進を図り、拠点市街地としての快適な都市空間の創造を図ります。

主な事業 鉄道立体交差事業、海老名駅周辺整備推進事業、歩道整備事業、鉄道関連整備事業
土地区画整理事業、市街地再開発事業

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

神奈川県海老名市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・道路環境改善	長距離トラック駐車場の整備	・路上待機車両の減少による事故削減、渋滞対策と沿道の環境改善	
・地域産業の活性化	道の駅の整備促進	・道の駅により地産地消の場を形成し、地場産業の活性化を図る。 ・プチ道の駅（小規模の道の駅）ような施設の制度化により、地域特性に応じた活性化を図る。	
・歩行者にやさしい交差点	交差点内のスクランブル化、歩行者と車両の青信号を分離（単独現示化）	・信号機が設置された交差点内で、歩行者と車両とが同時に通行しない形態とすることで、歩行者事故の削減を図る。	
・支援制度	圏央道など重要な国土幹線の関連事業	・関連事業に対する重点的かつ手厚い支援	